

令和4年度 学校自己評価・学校関係者評価委員会に係る評価結果報告

令和5年4月27日（木）開催

下記の通り、学校評価について報告いたします。

学校法人朋友学園 四国総合ビジネス専門学校 校長 岡本哲夫

	評価項目	評価 4段階	自己評価結果・改善方策等	学校関係者評価委員会 結果・質疑・意見等抜粋
1	教育理念・人材育成	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や努力目標は、学校要覧にも明文化され公表し、それに向けて努力している。 ・多様な生徒に対して社会や業界のニーズに合う人材育成に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目全般に適正な評価であり、特に問題はない。 ・各評価の結果が「B：おおむね十分」となっているのは学校の努力の結果なので、今後も一層の努力を期待する。
2	学校運営	B	<ul style="list-style-type: none"> ・法人として運営方針等を定め適正に運営されている。 ・各種事業計画に新たな企画を取り入れ、多種の校務に従事している。 ・職員のチームワークが良く運営に協力している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学校の特色をもっと一般（特に高校生）にPRする。
3	教育活動	B	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれコースごとに2年間のカリキュラムを設定し、検定・資格取得に向けて計画的に指導した。資格取得率も上昇した。 ・成績評価、認定等については学則で定め、オリエンテーション等で周知した。 ・授業アンケートの結果を分析し取組方法や改善策をさらに検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数でも生き生きと活動している学生を見ているので今後も丁寧な指導を継続して欲しい。 ・広報（広告）の方法を模索し、ターゲットをどこに絞るかも考えて実施してはどうか。
4	学修成果	B	<ul style="list-style-type: none"> ・就職は早い段階から面談を重ね、適切なアドバイスにより高い内定率を得た。 ・資格取得指導は、計画的に行われ概ね希望した資格・検定取得を達成した。 ・さらに上位級を目指した者も指導の効果を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間を見据えコースによって、カリキュラム、シラバスを設定、資格・検定取得率も向上している。 ・授業アンケートの結果を踏まえ改善に努力している。 ・資格、検定受験への意欲の乏しい学生に対する

5	生徒支援	B	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な就職会議や連絡により学生への支援体制は機能した。 高等教育修学支援制度、特待生奨励等経済的な支援体制を整えている。 卒業後もミスマッチ等の進路相談に応じている。 授業料等遅延及び出席率不足による生徒は保護者へも連絡し改善された。 	<p>指導の強化に期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 奨学金や特待生奨励金制度の支援体制を今後も継続する。
6	教育環境	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育に必要なコンピュータは概ね対応できている。 入社前研修でミスマッチが生じないよう努力している。 防火・防災訓練、浸水害・地震時の避難計画書を作成、消防点検作業を実施し、所轄消防署の指導を定期的に受けている。 今年度はコロナの影響で訓練を中止し、説明のみ実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップや入社前研修を継続する。万一、ミスマッチが生じた場合、学生へのフォローをしっかりとりたい。
7	生徒の受け入れ状況	B	<ul style="list-style-type: none"> 広報部を中心に様々な取り組みを検討、実施している。 新型コロナ感染防止対策がガイダンスなどにも影響している。 納付金は分割納付、特待生制度の充実や支援体制を確立している。 高等教育修学支援制度(無償化)の認可を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 財務にも影響すると思うので、必要最低限の入学者の安定した確保に努める。 時間があれば、職員、学生による出前授業などを実施する。社会貢献や一般へのアピールに繋がる。 授業確保で難しいと思うが、学生向けにいろいろな講座の開催を検討する。
8	財務	B	<ul style="list-style-type: none"> 学生数の増減が、生徒納付金収入に影響する。 財政基盤の安定を図るため学生数、求職者支援訓練生の確保が必要である。 工夫しながら収支のバランスを確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページは充実している。よく閲覧するので、興味を持つような内容を時々追加するなど検討してはどうか。 多様な学生がいるので支援の中で、教育相談的な体制も大切である。

9	法令等の遵守	A	<ul style="list-style-type: none"> ・関係規則、諸規定は明文化され遵守された。 ・個人情報に関して、きちんと対応した。 ・学校自己評価アンケート、関係者評価委員会の実施により取り組みや改善策を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動があれば、一般へのアピールに繋がる。
10	社会貢献・地域貢献	B	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者支援訓練生をハローワーク、高等技術学校の依頼により受入れている。 ・各種検定試験会場として校舎を開放した。 ・ボランティアについては、依頼があれば周知、掲示し動員もしている。 	

評価基準アンケート結果＜ A：十分である B：おおむね十分である C：やや不十分である D：不十分である＞